

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03010030

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	B		
単位施策	4	財政の安定化	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	エルタックス(地方税ポータルシステム)推進事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	3	税財管理課	
事業主体	雄武町		関係課	1	総務課	
事業指標	課税事務における電子化の推進				#N/A	
事業目標	エルタックス審査システムの運用		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	有	地方税法	
住民協働			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	○エルタックス審査システムの運用 ・住民税金特徴ASPサービス ・国税連携ASPサービス ・電子申告ASPサービス (法人町民税、給与支払報告書、償却資産)  ○エルタックス運営経費の負担 ・エルタックスの運営主体である一般社団法人 地方税電子化協議会への負担金	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)  ・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)  ・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)  ・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)  ・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	・エルタックス審査システム運用 (ASPサービス利用料等)  ・エルタックス運営経費負担 (地方税電子化協議会負担金)	
	事業費(千円)	5,364	1,052	1,078	1,078	1,078	1,078
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	5,364	1,052	1,078	1,078	1,078	1,078	
実 績 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	2,073	1,019	1,054	0	0	0	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) エルタックス審査システム運用	(実施内容等) エルタックス審査システム運用	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 年度達成率	審査システムの運用 97%	審査システムの運用 98%	審査システムの運用 0%	審査システムの運用 0%	審査システムの運用 0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	19%	39%	39%	39%	39%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆				

事業名	エルタックス(地方税ポータルシステム)推進事業	評価者	管理職 職氏名	税財管理課長	山崎 佳之
		評価者	作成者 職氏名	課税係長	前田 忠和

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武町における納税義務者、申告義務者		望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標) 指標(指標計算式/解説) ①【年金特別徴収データ】 ⇒ 1,761件 【確定申告データ】 ⇒ 2,342件 ②【電子申告利用件数】 ・法人町民税 ⇒ 106件 ・給与、年金支払報告書 ⇒ 877件 ・償却資産申告 ⇒ 172件	①年金特別徴収、確定申告データ送受信数 ②電子申告利用件数(受付業務開始⇒H24.11.26～)		
【抱える課題やニーズは】	・税制改正に基づく対応(年金特別徴収、国税データ連携の制度化) ・納税者の町税申告における利便性向上 ・町税における課税事務の効率化			目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	電子情報技術を活用することで、納税者の町税申告における負担軽減を図るとともに、町税の課税事務を円滑に実施する。			目標年度	平成26年度	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	・町税申告における納税者の利便性向上 ・町税の課税事務における正確性を確保 ・効果的、効率的な行政運営			実績値	4,103件	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①システムの運用(年金特徴、国税連携)	民間ASP業者を介し、エルタックス審査システム(住民税年金特別徴収業務、確定申告データ受信業務)の運用を図った。		達成度	100.0%	
	②システムの運用(電子申告)	民間ASP業者を介し、エルタックス審査システム(町税の電子申告受付業務)の運用を図った。		目標年度	平成26年度	
				実績値	1,155件	
				達成度	100.0%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	税制改正による個人住民税の年金特別徴収実施、国税における確定申告データの伝送化、給与支払報告書の電子的提出義務化(H26.1～)により、本システムの運用が必須である。
必要/概ね必要/課題あり		全部	
		一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	本システムの運用により、年金特別徴収の適正な実施、国税とのデータ連携が有効に機能し、個人住民税における課税事務の効率化が図られている。また、町税の電子申告受付開始により、納税者の利便性向上が図られている。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本システムの運用にあたって、民間のASP業者を利用することにより、事業費の抑制が図られている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	制度改正に伴う事業であり、新たに受益者に負担を求めるべきものではないことから、公平と判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
納税者の利便性が向上し、町税の課税事務における正確性の確保、効率的な実施が図られていることから、今後も計画どおり事業を進めることが適当である。		



継続/現状維持		
納税者の利便性向上や税務行政の効率化を維持するため、本システムを継続運用して行く。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
  - 終了 ○休止 ○廃止